

## 高校生活について（抄）

### 1 校内生活について

高等学校には、定時制・全日制・通信制・単位制の課程があります。どの課程も同じ目的で、同じ目標達成の努力をする仕組みになっております。定時制課程が4年間、全日制課程が3年間で高等学校の教育課程を修了します。特に定時制課程に入学した諸君は多くの努力と忍耐力が要求されます。昼間は仕事に従事し、身体的にも大きな負担の中、高校生活を送らなければなりません。定時制は全日制とほとんど同じ教育課程に基づき高度な知識と技能を習得します。したがって強固な意志と努力がなければ、勉学と勤労を両立させることはできません。本校に入学したからには、初志を貫き、卒業を目指して、自主・自立の精神で日々の学校生活を送ってください。

(1) 月曜日～金曜日 17:30～20:50

(2) 授業時間 1時限45分を基本とし、一日4時限を原則とします。

(3) 給食 希望者は以下ア～イのいずれかを申し込む必要があります。

ア 米飯給食（米飯・副食・牛乳）月額3,000～4,900円程度の個人負担

イ おにぎり給食（おにぎりと味噌汁）月額600～900円程度の個人負担

※上記金額で利用するには、年度初めに届け出が必要です。また、金額は年度によって変わります。

ウ 給食時間は16:50～17:30及び18:20～18:35を基本とします。

(4) 教科・科目について（「教育課程表」を参照してください。）

(5) HR・学校行事について（年間行事計画を参照してください。）

### 2 学習について

(1) 成績の評価・評定の基準及び方法

各学期の評価および学年末の評定は、定期試験を基本として、出席状況・学習態度、その他平素の成績を加味して、5段階法によって行います。その際、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から観点別評価を行い、それらを総括した評定とします。

(2) 履修・単位の認定の条件は次のとおりです。

ア 教科科目の年間の出席時数が75%以上であること。

イ 教科科目の評定がすべて「2」以上であること。

(3) 進級は、学年で履修すべき全教科科目の単位を修得した場合に認定されます。

### 3 学校生活における注意事項

(1) 服装は端正で活動的なもの。

(2) 集団生活における約束を守り、責任ある行動を心がける。

(3) 夜間通学における事故の防止（事故が起きた時は、早急に連絡する）。

(4) 生徒間の交際は健全であること。

(5) 諸届は確実に提出すること。

ア 交通安全に関するもの

車両通学許可願、免許取得許可願、免許取得届等

イ 学習活動に関するもの

欠席届、遅刻早退の届…入・退室届（入室許可書、早退許可書、外出許可書等）

#### 4 校外生活について

本校に在籍する者は、勤労者であると共に学生であることの自覚と誇りを持って行動しましょう。いたずらに生徒相互の信頼を失う行為や非行に走ってはなりません。

(1) 次のことに注意し、行わないようにしましょう。

ア 交通違反、交通事故

イ 未成年者の飲酒・喫煙

ウ 薬物による遊び

エ 夜遊び（特に、18歳未満立入禁止場所への出入り）、無断外泊等

オ 万引き、暴力的な行為

カ 男女の節度を越えた交際

キ その他節度を越えた行動

(2) 校外生活を健全にするために心がけよう。

ア 自分だけでなく、人のためになることの実践

イ 物を大切にし、人を尊重し、自分には厳しく

ウ 真の友人を得よう

エ 一日の時間を有効に計画しよう

オ 予習・復習の習慣をつけよう

カ 積極的に読書・スポーツ活動をしよう

キ 新しいものを創造する思考を持とう

ク 睡眠・休養を十分にとろう

ケ 栄養を十分にとろう（過食は慎もう）

#### 5 進路と職業について

(1) 職場の安定……勤務（アルバイト）先は4年間続けるのが望ましい。

(2) 進学……大学、専門学校について調べておくことが望ましい。

(3) 就職……具体的な職業、勤務場所などの労働条件について調べておくことが望ましい。